



The Service Club for the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 4-11-5, Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長主題: 信念のあるミッション Wichian Boonmapajorn (タイ)
アジア地域会長主題: 愛をもって奉仕をしよう Edward K. W. Ong (シンガポール)
東日本区理事主題: 原点に立って、未来へステップ 渡辺 隆 (甲府)
あずさ部長主題: ワイズメンとして一歩前進 標 克明 (甲府)
甲府クラブ会長主題: 夢をつなごう 秋山仁博

甲府クラブ
2016年 5月 会報
●今月の強調目標
E F / J E F

■今月のことば■

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」 ルカによる福音書 11章9節 石原祥平会員選

◆◆◆ 巻頭言 ◆◆◆

備え有れば、憂い無し 常に準備を心掛けましょう

会長 秋山仁博

「災害は、忘れた頃にやって来る」と言います。熊本・大分地方のワイズの皆様には、誠に大変なご苦勞をされていると思います。心からお見舞い申し上げます。種々の情報が入る中で、甲府クラブも同じ仲間に対し、若干でもお役に立てる援助をしなければと思い、過日の役員会で、今月の例会より募金箱を用意して、各テーブルを回して会員の善意の募金をお願いしようと決定しました。災害後の当初は、食料や生活物資が特に不足していて、まずその補給が優先順位が一番先だと聞きましたが、国・県・市町村の対応が始まった今は、継続的なボランティア及び、息の長い経済援助が必要だと言われているので、災害募金を集めたいと思います。既にいろいろな関係で、募金をされていることと思いますが、是非にご協力をお願いします。

さて、今月は甲府クラブの会員増強月間です。これについても、非常に重要な事業なので会員皆様のご理解を得たいと思います。本年は、大沢委員長のご尽力で2名の新会員が入会しましたが、まだまだ、増強は必要です。会社でも同じですが、年々一歳ずつ年齢を重ねて行くことは、会社の組織の活性化が停滞して、いつか知らぬ間に、衰退の道を歩んでしまいます。心を常に熱くする為には、新しい人材と感性の導入が必要だと思います。増強推進月間の今月のみならず、やはり常日頃より、新会員の増強をいつも頭の中に置いて、会員よりの推薦を、年間を通してお願いします。

最後に、第19回東日本区大会(6月4日～5日の「長野大会」)のお願いです。渡辺隆会員をはじめ多くの甲府ワイズの会員が数年前からお手伝いをして来ましたので、この大会

をどうしても成功させねばなりません。参加するだけでなく、運営にもお手伝いをお願いしていますが、大会の主題であります、「原点に立って、未来へステップ」が甲府ワイズにとっても、未来の扉を開くきっかけになって欲しいと思います。

5月例会

日時: 2016年5月10日(火) 18:45～

会場: 談露館

担当: 会員増強委員会 司会: 廣瀬静男会員

プログラム

- ・開会点鐘 秋山仁博会長
- ・ワイズソング・ワイズの信条
- ・会長挨拶・ゲスト紹介 秋山仁博会長
- ・今月のことば 石原祥平会員
- ・ワイズディナー

会員卓話 神山玄太会員

「空き家問題に集約される甲府の課題」

- ・諸報告
- ・EMC委員会より
- ・あずさ部より
- ・東日本区より
- ・区大会について
- ・チャリティランについて
- ・ハッピーバースデー・アニバーサリー
- ・YMCAの歌
- ・閉会点鐘 秋山仁博会長

4月例会報告

4月12日(火)、1月以来の談露館にて、例会が開かれた。秋山会長から、講師の紹介と、ヴァンフォーレを応援したい旨の挨拶があった。標会員の「今月のことば」は、お仕事の写真撮影についての格言である。「気持ちが入っていれば、たとえピンボケでも伝わることもある。これは、ボランティア活動に通ずる考え方である」

キャビネットに会長から活動費が渡され、ディナー。続いて勝侯敦氏の、「未分化の最悪ガンでも、私はこうして生き永らえた」と題した卓話をお聞きした。

1940年、和歌山に生まれ、東京の学生時代に内藤会員と同じ下宿にいた。69年、ミュージックテープの卸売業を始め、その後経営危機を乗り越えたが、2006年ガンを発症した。甲府は第三のふるさとである。ガンと闘うのは医者任せにせず、自分で最新の治療情報を集め、最適な病院を選び、費用もかけることだ。早期発見はもちろん、腫瘍マーカーをチェックし、再発を予測。手術・放射線・抗癌剤のどれを選ぶかも大事。



卓話の後に、丹後会員から、区大会についての連絡、内藤会員から北口まちづくりに関する連絡、大澤会員から会員増強に関する報告等があり、散会した。(石川博)

ニコニコメッセージ

- * 勝侯様、ありがとうございました。(石川和)
- * 貴重な体験ありがとうございました。ガンはこわい。しかし克服できるよう最善を尽くしましょう。(大澤)
- * 五月の連休に、今年2月に生まれた孫を連れて、次男が帰ってきます。とても楽しみです。(廣瀬)
- * 私の好きな言葉。「信用の基は誠実であり。誠実の基は信念にあり」。仕事もワイズもこの言葉に従って。(秋山)

4月のデータ

会員数	39名	例会出席	30名
メネット	1名	出席率	77%
ゲスト	2名(卓話者とご友人の小泉氏)		

4月役員会報告

◎4月26日(火) 18:30~20:30 山梨YMCA

◎出席者 秋山、丹後、内藤、濟本、荒川、仙洞田、標、小倉、大澤、丸茂、石川(博)、武田

【報告事項】

- ① 4月例会報告 → このページ参照
- ② 5月例会は神山玄太会員の卓話とする。
- ③ 5月14日(土)第3回あずさ部「アイリス評議会」が東京八王寺クラブの担当で高尾わくわくビレッジで開催する、大勢の参加を。
- ④ 6月4日・5日東日本区長野大会は、メン23名、メネット7名が参加予定。お手伝いもお願いする。
- ⑤ 6月11日(土)第19回チャリティランは、今年は会場が小瀬スポーツ公園補助競技場になる。
- ⑥ 次期役員は、会長丹後会員、副会長武田会員、書記標・神山会員、会計小倉・田中会員、会員増強大澤委員長、国際・交流ピーター委員長、地域奉仕仲澤委員長、クラブサービス荒川委員長、ブリテン石川(博)仙洞田会員。

【協議事項】

- ① 熊本地震の募金については、5月例会でニコニコ以外に集める。
- ② 甲府クラブのユニホームについては、長野大会に間に合うように、丹後会員が検討する。
- ③ 東日本区CS写真コンテストにクラブとして、「正月で遊ぼう」の写真5点を応募する。
- ④ 体調を悪くしている、布能、平原、鈴木、石原会員の様子をブリテンに掲載したらどうか。(武田)

東奔西走

- ・4月2日(土) 石巻広域ワイズメンズクラブ設立総会 → 3ページ記事参照
- ・4月9日(土)・10日(日) 第3回東日本区役員会(石和温泉・富士野屋夕亭) → 3ページ記事参照
- ・4月16日(土) 東西日本区理事連絡会議(四谷) 渡辺(隆)・仙洞田・二子石・廣瀬
- ・4月20日(水) 長野大会実行委員会及び例会(長野) 武田・丹後・仙洞田
- ・4月23日(土) 長野大会実行委員会(長野) 渡辺(隆)・武田・廣瀬・仙洞田
- ・4月25日(月) 東日本区文献・組織検討委員会(四谷) 渡辺(隆) 東日本区JEF委員会(四谷) 渡辺(隆)・二子石 東日本区常任役員会(四谷) 渡辺(隆)・仙洞田・二子石

第3回東日本区役員会

2015-2016年度の第3回東日本区役員会が、石和温泉富士野屋夕亭を会場に、4月9日(土)～10日(日)に開催されました。甲府クラブからの出席者は、渡辺(隆)、仙洞田、二子石、標、丸茂、廣瀬の6名でした。

渡辺理事の開会点鐘、浅羽ユース事業主任の開会祈祷、ワイズソングに続き、これまでの活動に対するお礼と、東日本区大会へとつながり、本年度が無事に締められるようにとの理事の開会の挨拶。司会は仙洞田書記。総勢36人の新旧役員が石和に集まり、土曜の午後から日曜の昼まで、真剣に活発な意見を交わし、重要な議案も全て承認されました。

理事報告の中では次年度の始めには東日本区全体の会員数が950人に増えそうだとの明るいニュースもありました。夜の懇親会は笛吹川が一望できる会場で、おいしい料理とお酒を飲みながら話がはずみました。翌朝の日曜礼拝の奨励は次期北海道部長の山本雅之会員の「私の中のキリスト教」。エクスカッションには18名が参加、リニアが展望できる花鳥山公園でお弁当を食べ、桃の花が咲き始めた甲府盆地の美しい景色を眺めながらとてもゆったりとした一時を過ごしました。次年度役員にとっては初めての役員会で貴重な経験ができ、また現役員は残り3カ月、第4回の役員会に向け気持ちが引き締まったことと思います。天候にも恵まれ、親睦も深まり、充実した内容の役員会でした。(廣瀬静男)

5月 Happy Birthday

メン 金丸さぶろう(12日)
メネット 秋山清美(11日) 渡辺広子(徳之、21日)
標 恭子(24日) 大澤祥子(28日)

5月 Wedding Anniversary

石川和弘 ♡ てる子(4日) 平原貞美 ♡ 弥寿子(8日)
武田信男 ♡ 道子(11日) 遠藤順彦 ♡ 充子(14日)
中島達人 ♡ 雅子(19日) 秋山仁博 ♡ 清美(26日)

今後の予定

5月14日(土) あずさ部第3回評議会(高尾)
5月24日(火) 5月役員会(山梨YMCA)
6月4日(土)～5日(日) 東日本区大会(長野) 6月例会を兼ねます。和歌山クラブとの懇親会も予定しています。
6月11日(土) チャリティラン(小瀬・補助競技場)

仮) 石巻広域ワイズメンズクラブ設立総会

4月2日に「石巻広域ワイズメンズクラブ設立総会」に出席いたしました。石巻グランドホテルで行われた総会には21名のチャーターメンバーを含む67名の参加で開催されました。石巻では、東日本大震災の時にボランティア活動の拠点として「YMCA石巻支援センター」が立ち上げられました。その時に仙台にある3クラブより話があがり、このクラブが設立されました。東日本大震災からの復興というとても大変な時期を乗り越え、設立される「石巻広域ワイズメンズクラブ」です。皆さんとても明るくとても熱意を持ったメンバーでした。

翌日3日はチャーターメンバーの1人日野さんと仙台青葉城クラブ清水弘一さん(仙台YMCA学園理事長)の案内で震災のとき被害があった門脇地区、女川町、大川小学校を見学しました。まだまだ津波の爪痕は残っていて、復興もあまり進んでいないと感じました。この見学を通じて、私たちにどのようなことができるのかとつくづく考えさせられました。また、石巻市雄勝町名振地区



に建てられた「津波の教え石」も見学しました。石碑が建てられている公園はみんなが集える場所になれば良いと思いました。そのためできれば山梨の「神代桜」の苗を送りたいと考えております。片道6時間、往復12時間と言う長い道のりでしたが、ずっと渡辺隆ワイズの運転で、仲澤ワイズの陽気なおしゃべりのおかげでとても楽しい道のりでした。また、被災地を見学することで、とても学ぶべきことが多い旅となりました。甲府からの出席者は、渡辺(隆)、仙洞田、遠藤、武田、武田メネット、仲澤、丹後でした。(丹後)

6月4・5日は、長野で東日本区大会

6月11日は、小瀬でチャリティラン

闘病生活に思う

—ワイズとの絆—

平原貞美

長く闘病生活を続けていると、様々な思いが胸の中をよぎります。ある時は病に挑戦し、ある時は在るがままにじっと耐えるなど。一方、体の一部となっている「ワイズとの絆」が生きる原動力になり、支えられ、生かされてきた私自身なのに、ワイズがだんだん遠くなっていくような気もしています。思えば60有余年没頭してきたワイズへの思いは断ちがたく、例会に出席もできない現状の私にも何かできることはないか、いやあるはずだと、思考をめぐらす昨今です。

現在甲府クラブが精力的に行っている奉仕活動は何か。一つは山梨チャリティラン、そしてバザーです。田中司郎委員長率いるチャリティ



ランは地域のイベントになりつつあり、バザーは山梨YMCA挙げての行事となっております。その中心的役割を担っているのがワイズです。ワイズの信条の中に「青少年のためにYMCAにつくそう」とあり、その意味でたいへんな貢献をしています。しかし協賛企業を含む参加者のほとんどが、具体的目的意識や地域社会での評価もないままに、単なるお付き合い程度の寄付行為としか思っていないようです。チャリティランの代走依頼チームが増えていることからそれがうかがえます。もし、チャリティラン参加寄付金で、多数の車椅子を必要施設に舞台上で贈呈すれば、マスコミも大きく取り上げるでしょう。また参加者や関係者各位が、こんなに役立つことをしているんだと分かり、来年もと心に刻んでもらえるのではないのでしょうか。このような2大事業を精力的に行っているながら、外部にワイズのことを知ってもらえないのは、何か寂しい気がします。

ワイズも時代とともに変貌し、単にYMCAのサポートに専念するだけでなく、ワイズ独自の地域に貢献する事業をもっと積極的に考えてもよいのではないか。そのためにはどうすればよいのか。——許されるなら、病める会員のたわごとを続けたいと思います。

平原会員より寄稿があった。今後も折に掲載していきたい。一日も早い御快癒を祈念します。写真はご自宅にて、丹後会員撮影。

北口情報

甲府駅北口まちづくり委員会から

山の緑が色濃くなりました。甲府ワイズメンズを始めボランティアの皆さんのご協力によりまして、平成27年度もバラの花が順調に成長して、参観者の目を楽しませています。

平成28年4月11日(月)には平成28年度「バラを育てるラ・ロの会」の総会を開催致しました。提案しました案についてはご了承頂きました。有難うございました。一部役員も追加し強化しました。

太白桜祭りは第6回目を迎え、年々関心は高まり成長しています。本年は8日～10日の信玄公祭り日程の中に太白桜祭りを組み込み、10日に開催しました。その結果、北口のよっちゃばれ広場は満員の人で賑わい、前途洋々と関係者一同喜びで一杯です。春の陽気が一段と顕著になってきました。バラの蕾が大きくなり今年も期待できると会員一同喜んでいきます。

YMCA
たより

今、熊本YMCAが指定管理する益城運動公園には1300人を越える被災者が体育館や駐車場の車内で生活をしているとのことです。直接YMCAスタッフが担当する救援対策本部とYMCA本部が直結し、刻一刻と新情報が舞い込んできます。これに応えるべく山梨YMCAでは、まずできることとして街頭募金を始めました。プライムタイムの子供たちが声をからして町行く人々に声を掛けると多くの人が応えてくれました。参加した子どもたちは連日流れる被災地のニュースに無関心でいられなくなり、2度目3度目の街頭募金に参加しようとしてくれています。ワイズの皆様も早速東日本区から100万円の支援金が送られるなど、迅速な対応をしていただいています。これからも被災地の皆様に寄り添い続けて行きたいと思えます。

さて、5月1日はYMCA創立記念日です。70年前のこの日に山梨YMCAは誕生しました。それからYMCAの会館は2回移転をし、現在の建物は3番目の会館とのことです。そして今、新天地に移るのか、現在の地に残るのか、不透明なまま道路拡幅工事を迎ようとしています。もともと皆さんへの生の声を、アイデアをお聞かせください。今この時代に、この地で、未来に向けてYMCAは何をすべきですか？どこにあるべきですか？移って欲しい場所はどこですか？耳寄りな物件をご存知ではありませんか？何か斬新な発想をお持ちの方はいませんか？

これから75周年に向けて大胆に且つ慎重にYMCA丸の舵取りをしていかなければなりません。YMCAに連なる皆様と共に、総力を挙げてこの船を前に進めましょう。(露木)